

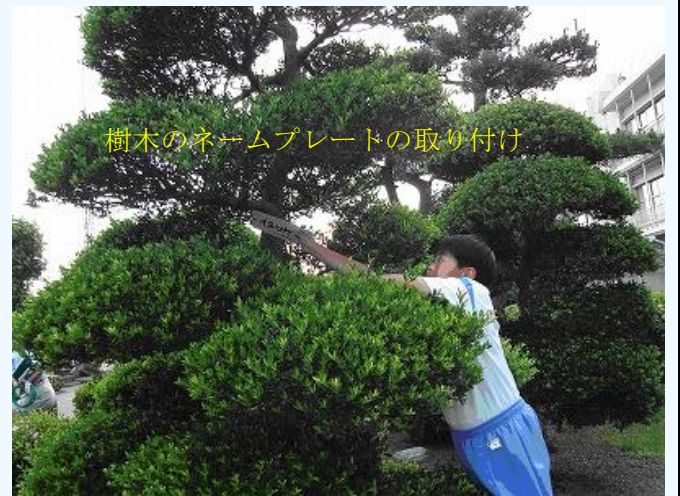
テーマ：『 地域の自然環境に目を向け、体験的活動を通した、豊かな心を育てる環境教育 』

上三川町立 本郷中学校

Tel. 0285-56-2136 担当者： 上野 清子



P T A整備作業に生徒も共に参して環境整備



樹木のネームプレートの取り付け



有志生徒が育てたホタルを幼虫を地域のの人たちと共に磯川緑地に放流



三年生全員が地域のの人たちと共に磯川緑地公園にアヤメ 500 株を移植

■実践内容：「理科の授業」「総合的な学習の時間」や「学校行事」、「生徒会活動」、「P T Aと連携した活動」や「生徒の自主的活動」等を通し、以下のような自然体験活動、勤労生産的活動、環境緑化活動等に取り組み、生徒の豊かな心を育てる環境教育を進めました。

- (1) 校内環境緑化活動。
- (2) 学区内環境調査
- (3) 校内の自然環境調査と樹木ネームプレートの整備・環境コーナーの整備
- (4) 授業への実験、観察、飼育・栽培活動の積極的な導入
- (5) 地域の磯川緑地公園に目を向けた体験活動。

■実践成果： 中学校で少なくなりがち、ひと(生徒・教師・保護者、地域の人々)、もの(動植物・地域の自然等)、こと(自然体験・勤労体験・観察・ボランティア活動等)との豊かなかかわりの中で生徒の「豊かな心」が育まれてきました。

■実践ポイント： 直接的体験が不足しがちな中学校において、地域の自然に目を向け、意図的、計画的に直接的な体験活動を取り入れました。その際に、地域の人材の活用や地域の人々とのかかわりを大切にした取り組みを心がけました。また、一年間を見通し、季節の移り変わりを踏まえながら、タイムリーに活動をしていくため、活動の主体と時間の確保、指導の主務者を明確にして取り組み

ました。